

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策I-3-3
外国人観光客誘客の強化

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

観光振興課長 堀江 隆典

電話番号

0852-22-6298

事務事業の名称	広域連携誘客推進事業	
目的	(1) 対象	国内外観光客
	(2) 意図	広域周遊観光を促進することにより、更なる観光誘客を図る。
事業概要	<p>【鳥取県連携誘客対策事業】「山陰インバウンド機構」等と連携しながら、山陰エリアにおける観光ブランドの構築、データに基づくマーケティング、海外向け情報発信などの取組みを進める。</p> <p>【広島県連携誘客対策事業】広島県と連携し広域観光への取組みを進めるとともに、広島空港から島根への直行連絡バス導入を検討するための調査を実施する。</p> <p>【山口県連携誘客対策事業】山口県の誘客の取組と連携し、石見地域への誘客につなげる。</p> <p>【山陰路観光キャンペーン事業】山陰地区への観光客来訪と周遊を促すため、山陰観光連盟山陰路部会に負担金を支出し、共同キャンペーンを実施する。</p> <p>【ティスカパーウエスト連携協議会事務】中国5県における広域的な誘客事業を推進するため、中国5県とJR西日本とで構成する協議会へ負担金を支出し、共同で情報発信事業等を展開する。</p>	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	宿泊客延べ数	目標値	3,700.0	3,710.0	3,730.0	3,740.0	3,750.0	千人
	式・定義	毎年の観光動態調査結果	取組目標値						
				実績値	3,687.0				
			達成率	99.7	-	-	-	-	%
2	指標名	外国人宿泊客延べ数	目標値	40,000.0	50,000.0	60,000.0	70,000.0	80,000.0	人
	式・定義	毎年の観光動態調査結果	取組目標値						
				実績値	51,899.0				
			達成率	129.8	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	11,427	117,442
うち一般財源 (千円)	11,427	117,442

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基じた現状)

【鳥取県連携】鳥取県と連携し山陰DMO「山陰インバウンド機構」の設立を支援し、外国人観光客誘致に向けた体制を強化した。

【広島県連携】共同でWebによる情報発信、イベント開催、レンタカー助成(利用数433件)等を実施。

【山陰路観光キャンペーン事業】【山陰観光連盟事業】山陰観光連盟と連携して、冬の山陰への誘客キャンペーンを実施。プレゼントキャンペーンのパンフレット作成(3万部)、ノベルティの作成、JR主要駅へのポスター掲示等を行った。これにより京阪神へのPRを強化した。

【ティスカパーウエスト連携協議会】JR西日本及び中国5県で連携して着地旅行商品の整備及び、東京、名古屋、大阪、福岡において観光素材説明会を実施した。また、九州からの誘客を促進するため、熊本での説明会及び鹿児島でのマスコミ訪問等を実施した。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

【広島県連携】旅行会社に対してレンタカー付き宿泊型旅行商品造成に対する支援・インセンティブの付与により広域周遊観光を促進した。また、また、合同で設置するWebサイトの内容の充実・強化を図った。

【ティスカパーウエスト連携協議会】JR西日本との連携による旅行会社に対する旅行商品造成の働きかけなど、効果的に事業を実施した。また、JRとの共同事業により、旅行会社大手各社に対して山陰への旅行商品造成を積極的に働きかけた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

【全体】
H27年の県全体の観光入り込み客数はH26年から微減。外国人述べ宿泊者数については増加しているものの、全国最下位である。

②困っている状況が発生している「原因」

【全体】
島根県及び島根県を含む広域的地域観光において、国内外からの観光客をひきつける観光素材及び魅力のPRが充分ではない。また、島根県には海外からの直接のゲートウェイがなく、海外における県単独での認知度も低い。

③原因を解消するための「課題」

【全体】
隣接県や関連団体と連携し、国内外へ向けて島根の観光情報発信、魅力のPRを強化する必要がある。また、隣接県と周遊してもらえるような仕組みづくりや旅行会社へ広域周遊の旅行商品造成を積極的に働きかけていく必要がある。

併せて、山陰や中国5県の観光地を観光客が効率的に周遊できるよう、随時、的確な観光情報を入手できるような施策を講じ、観光客の満足度を高めていく必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

国際便が就航する広島空港から島根県へ外国人を誘致するため、広島空港-島根間連絡バスの運行実証事業によりバスの定期便化を検討していく他、H30年度に開催される山陰デスティネーションキャンペーンにも取り組みながら、引き続き、隣接県や山陰インバウンド機構及び関連団体と連携し、国内外へ向けた情報発信、誘客促進に向けた取組みを強化していく。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)